

と今西氏は雌雄の同定ができていなかったため、パラタイプは3♀とされているが♂が含まれている可能性がある。

上記の証言を得て、前田誠祥氏に確認したところ、以下の証言を得た。(1)今西コレクションだった標本は現在前田氏が所有している、(2)パラタイプと思われる標本のラベルは、「Imanishi Collection's」と書かれた面全面が赤く塗られ、その裏面に採集データが記載されている。

したがって、パラタイプ3頭について、現在明確にパラタイプとわかるものは前田氏のコレクションに含まれる1頭のみである。

今回取った措置

ホロタイプについては現状を維持した。沢田が「Allotype」ラベルを付した1♀には、「Allotype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA but by Dr. Yoshihisa SAWADA. Thus this specimen may not be the allotype. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルを追加することとした。

そして、accession No.107702 (原記載ではアロタイプ♀に振られている)の♂には、「Paratype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA. In INAHARA & RATTI (1981), accession No.107702 was designated as the allotype. This specimen may be designated in error because INAHARA could not identify sexes in this species. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルを追加することとした。

一方、採集データラベルがなくパラタイプラベルが付いた標本1♂4♀に対しては、「Paratype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA. Thus this specimen

may not be the paratype. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルをそれぞれに追加することとした。

まとめ

兵庫県立人と自然の博物館収蔵の台湾マダラクワガタのアロタイプラベルとパラタイプラベルが付けられた経緯を明らかにした。この経緯を簡潔に記載したラベルを作成し、それぞれのタイプ標本に添付した。また、当館以外に保管されているパラタイプについても調査し、今西修氏のコレクションに収められたパラタイプの現状について報告した。

謝辞

本種のタイプ標本や当時の状況について詳しいお話を聞かせていただき掲載の許可をいただいた今西修氏、かつての今西コレクション(現前田誠祥コレクション)の現状などについてご教示、掲載の許可をいただいた前田誠祥氏、ならびに今西氏と前田氏との連絡に便宜を図っていただいた小田中健氏、初宿成彦氏、谷角素彦氏、松田潔氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- Inahara, N. & Ratti, P., 1981. Description of a new species of Lucanidae from Formosa (Taiwan) : *Aesals imanishii* (Coleoptera). Bull. Ann. Soc. Royale Belge d'Ent., 117: 189-194.
 横川忠司・山内健生, 2018. 台湾マダラクワガタ *Aesals imanishii* Inahara & Ratti, 1981のタイプ標本. さやばねニューシリーズ, (32) : 7-9.

(2019年9月28日受領, 2019年11月20日受理)

【短報】石垣島におけるイシハラクロコメツキダマシの記録



Fig. 1. *Euryptychus ishiharai* Hisamatsu from Ishigaki-jima Island, Japan, ♂.

イシハラクロコメツキダマシ *Euryptychus ishiharai* Hisamatsu, 1994 は、九州(宮崎)、屋久島、奄美大島、沖縄島、小笠原諸島の母島に分布すること知られている種であるが、これまでに八重山諸島からの記録はなかった(笹岡・木野田, 2012; 鈴木, 2007, 2013)。筆者は最近、石垣島で採集された個体を検する機会を得たので、ここに記録しておきたい。報告に当たり、貴重な標本をご提供いただいた和歌山市の平

松広吉氏と川崎市の川田一之氏に厚くお礼申し上げます。なお、標本はいずれも筆者が保管している。

1♂ (Fig. 1), 沖縄県石垣市於茂登トンネル付近, 8-10. VII. 2019, 川田一之採集 (UV LED FIT); 1♀, 石垣市バンナ岳, 12. VII. 1970, 的場績採集。

引用文献

- 笹岡康則・木野田毅, 2012. 宮崎県内のコウチュウの記録 II. タテハモドキ, (48) : 19-32.
 鈴木 互, 2007. 屋久島におけるイシハラクロコメツキダマシの記録. 甲虫ニュース, (159) : 15.
 鈴木 互, 2013. 九州および沖縄本島から発見された興味あるコメツキダマシ2種. さやばねニューシリーズ, (9) : 30-31.

(鈴木 互 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科)